

# 聞こえる見えるはなわのわ

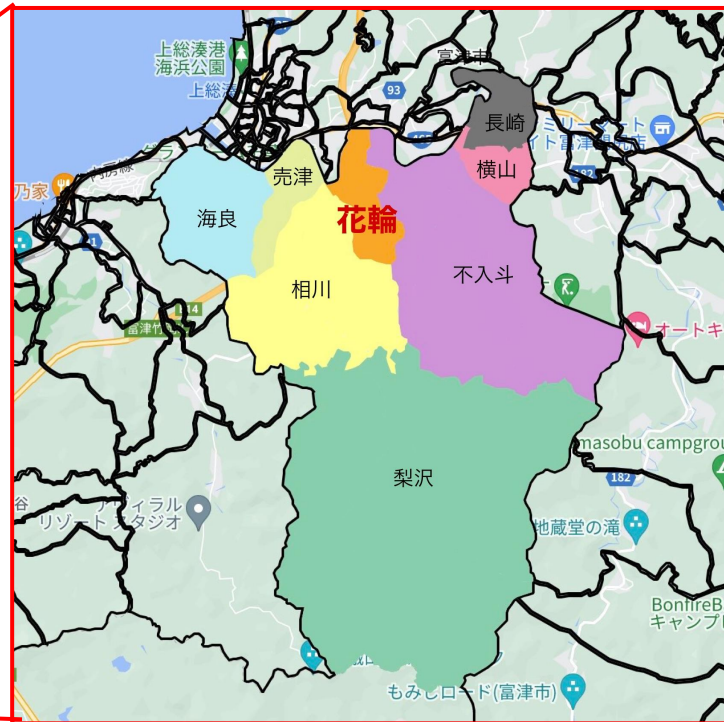
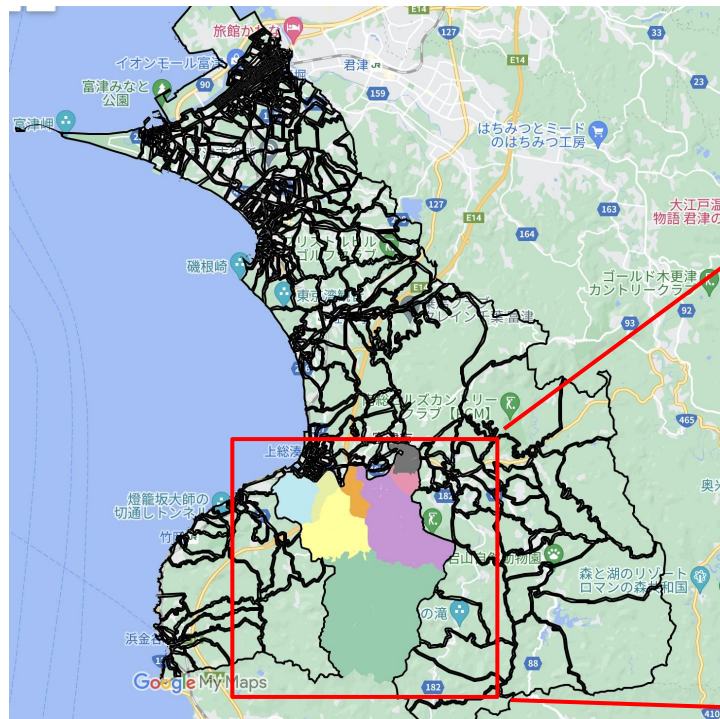
～学童と地域の交流をつくる～



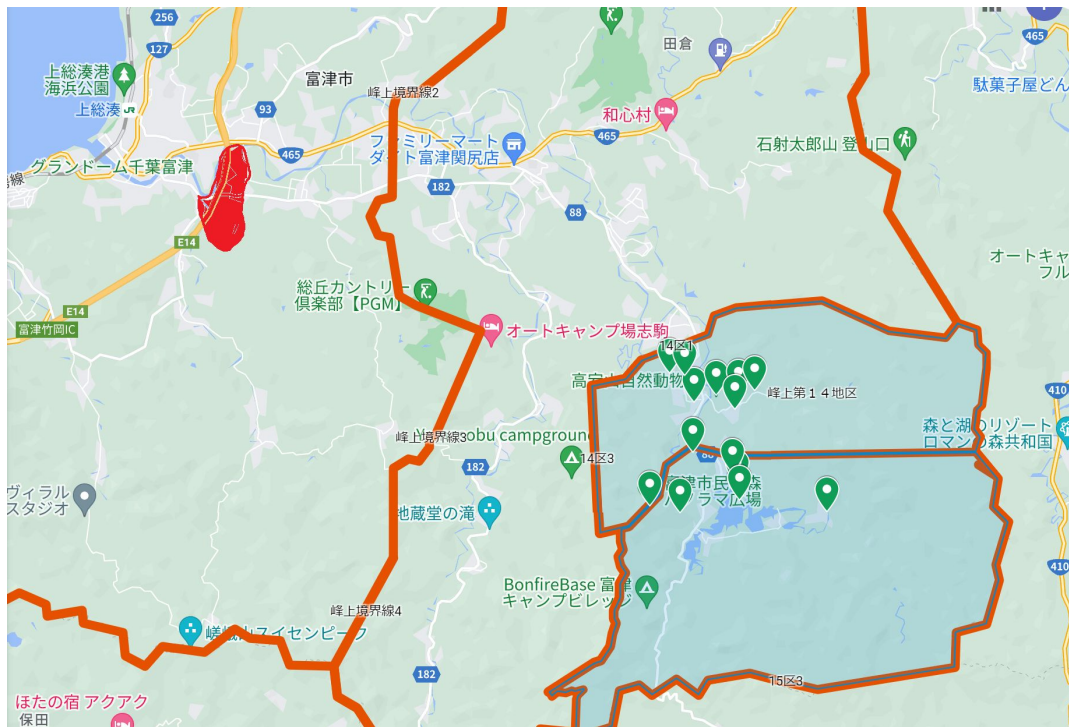
天神山地区

兒玉謙太郎  
前鳶一澄  
吉田智哉

# 花輪地区ってどんなところ？



# 花輪地区ってどんなところ？



・人口:112人

**人数が少ない！**

## 特色

- ・狭いが故の地域内の親密さ
- ・比較的状态の良い空き家
- ・旧天神山小学校跡地の存在
- ・学童が存在
- ・比較的獣害が少ない。
- ・相互扶助の精神

## 課題

- ・農業の後継者不足
- ・子供世代が地域から出てしまう(戻ってこない)
- ・交通の便が悪く、車に頼らざるを得ない
- ・観光スポットが少ない
- ・山の整備がなされていない
- ・JA農業機械センターの縮小
- ・旧天神山小の活用
- ・学童と地域の関わりが少ない

## 放課後児童クラブ フレンズきんこく塾

- 2019年に天神山小学校が廃校になって以来、校舎の一部を利用し、児童を一時預かりする学童。
- 天神山小学校が閉校になる少し前の平成 30年に運営を開始。
- 現在は近隣の天羽小や環小から常時 30人程度の子どもたちが、低学年を中心として平日の放課後や土曜日に利用している。
- コロナ禍以前は本の読み聞かせなども行っていた。



## ～花輪地区の特徴～

### 住民側

- ・長年同じメンバーで育ってきている
- ・住民同士の親密なコミュニティが形成されている

### 学童側

- ・天神山や天羽の他地区から性別・学年問わず色々な子供が集まっている。

## 住民インタビューでの違和感

住民の方々は生まれ育った旧天神山小学校を活用したいと思っている

地区内の人のことならわかるのになぜか天神山小学校で活動しているきんこく塾のことについてよくわかっていない

## プランの据える課題・理想状態

**課題** 花輪地区の住民ときんこく塾の子供たちがお互いのことについて知っていないこと。

**理想** 地域ときんこく塾の児童とその活動をお互いに知っている状態がプランを通した理想状態。



私たちの提案するプランは！

**聞こえる見える**

**はなわのわ プラン**

手法

認知

## 第①段階

花輪の住民全員に**回覧板**をまわす

具体的に・・・

- ・学童で読み聞かせイベントを行うこと
- ・誰かをピックアップして絵本を作ってほしいこと

を掲載！

手法

交流

## 第②段階

★住民の絵本を学童員が図書館で読み聞かせ



★子供達が自身の絵を書く(住民が見守る)



★花輪一周散歩をする

手法

見える化

## 第③段階

★まちに看板(子供たちの絵)を設置

## 効果 絵本を読み聞かせることで・・・？



住民達

自分の顔を印象的に覚えてもらうことで子供たちとの**交流がスムーズに**。



子供達

本の**バラエティーが増え**、  
新しい物語として楽しむことができる

## 効果 子供たちが絵を描く所を見守ることで・・・？



住民達

自然な流れでこどもたちについて  
知ることができる。



子供達

自分について話しながら自分を描くという  
新しい学習・遊びの経験。

## 効果 地区歩きをすることで・・・？



住民達

子供たちの声が外で聴こえることで  
子供の活気を感じることができる



子供達

馴染みのない花輪地区を  
実体験を通して感じることができる

## 効果 看板を設置することで・・・？



住民達

子供がしたいこと・興味のあることが**地域住民の方々に伝わりやすい**



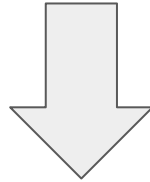
子供達

**花輪地区の一員になる経験**

自分の絵が掲示されることへの喜び



このプランがスムーズに実行できるか？



**花輪地区ならできるんです！**

# 花輪の良いところ

小さくて密な地域のコミュニティ

があります！

# こんな特徴があります！

- ・地域が親密で仲が良い分、すぐに集まる
- ・人口が少ない分集まりやすい
- ・行動に移せるまでの力がある
- ・子どもたちが、この地区出身でないからこそ冒険する面白さがある
- ・学校ももともとあり、小学校の時に通っていた人が多い
- ・学童に本がないので、寄付で成り立っている

# 将来の展望

第二の故郷ができ、子どもが関係できる

## 青年期

地区を離れても、故郷のことが頭の片隅には残る  
学童に通っていた子どもが、地域の部活動で活躍している姿を応援できる

## 大人になってから

地域に関心をもつ

もしかしたら再び関わってくれるかもしれない

# ご清聴いただきありがとうございました！

最後になりましたが、私たちのインタビューに快くご協力いただきました、

山口修様

内藤様夫妻

進藤様

鈴木様

田中様

綾部様

川名様

山口三男様

神子様

星野様

本当にありがとうございました！